

札幌市と「牛」
丑年にちなんで



平成 20 年 12 月

札幌市市民まちづくり局企画部統計課

「丑年」を迎えるにあたって、札幌市と「牛」に関する各種統計データを、トピックスとして取りまとめましたので、その内容をご紹介します。

1 「牛（丑）」年生まれの人口

「丑年」生まれの人口は 160,631 人

平成 20 年 12 月 1 日現在の住民基本台帳によると、21 年に「年男・年女」となる「丑年」生まれの人口は、160,631 人で、全市の 8.52% を占め 3 番目に多い。なお、最も多いのは「子年」で 170,481 人（9.04%）、最も少ないのは「午年」の 148,827 人（7.89%）である。

「丑年」の内訳を見ると、いわゆる「団塊の世代」といわれる昭和 24 年生まれ（35,684 人）が最も多く、次いで「団塊ジュニア」といわれる 48 年生まれ（31,346 人）となっている。

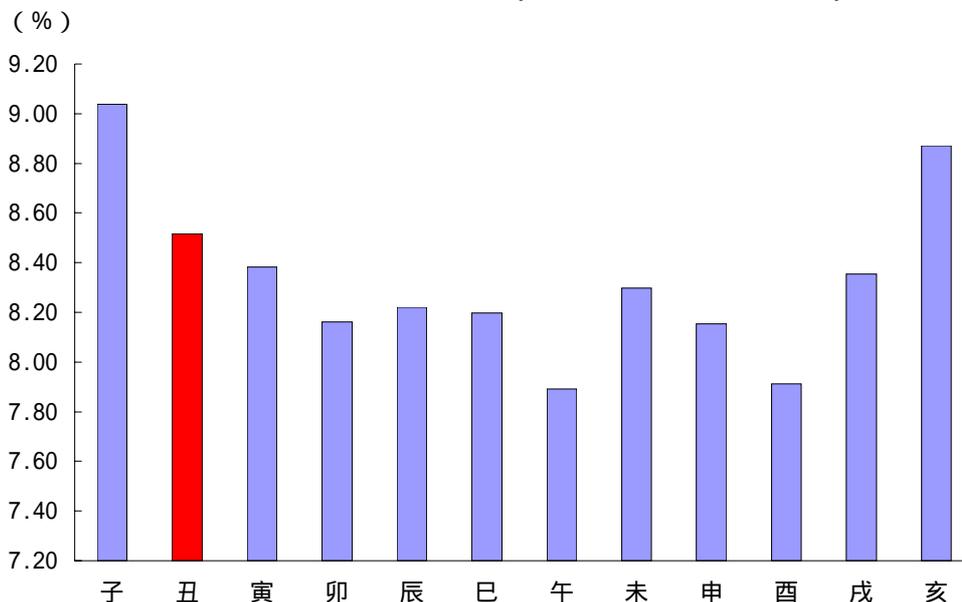
第 1 表 十二支別人口

住民基本台帳による。

		平成20年12月1日現在					
区 分		子	丑	寅	卯	辰	巳
人 口		170,481	160,631	158,101	153,940	155,040	154,623
構 成 比 (%)		9.04	8.52	8.38	8.16	8.22	8.20
区 分		午	未	申	酉	戌	亥
人 口		148,827	156,493	153,799	149,218	157,557	167,297
構 成 比 (%)		7.89	8.30	8.15	7.91	8.35	8.87

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課

第 1 図 十二支別人口割合（平成20年12月1日現在）



注： 住民基本台帳による。

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課

第 2 表 「丑年」における生年別人口

住民基本台帳による。

		平成20年12月1日現在								
区 分		明治34年	大正 2 年	14年	昭和12年	24年	36年	48年	60年	平成9年
人 口		1	1,023	9,124	19,016	35,684	24,705	31,346	23,891	15,841

<資料> 市民まちづくり局企画部統計課

2 「牛」の飼養頭数

飼養される牛の頭数は1,245頭

経済局農政部農政課の調べによると、平成19年に札幌市で飼育されていた牛は、主に乳用牛で頭数は、1,245頭である。札幌市の酪農家は24戸で、北区篠路、東区中沼・東雁来、手稲区前田、西区発寒、北区屯田地区などである。酪農家1戸あたりの飼養頭数は52頭と、小・中規模経営となっている。



13年からの推移をみると、酪農戸数、飼養頭数とも、14年から15年にかけて減少した後、ほぼ横ばいとなっている。1戸あたりの飼養頭数については、15年から16年にかけて増加した後、ほぼ横ばいとなっている。

第3表 乳用牛の飼養状況の推移

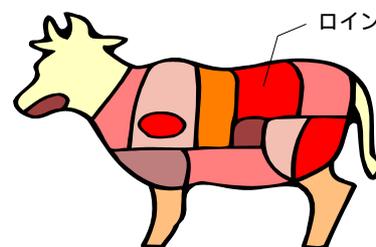
区 分	各年						
	平成13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
酪農戸数	29	29	26	25	24	24	24
飼養頭数	1,370	1,349	1,233	1,256	1,283	1,248	1,245
1戸あたり飼養頭数	47	47	47	50	53	52	52

<資料> 経済局農政部農政課

3 「牛」肉の輸入量

輸入される牛肉はオーストラリア産とニュージーランド産

財務省の「日本貿易統計」によると、平成19年中の函館税関札幌税関支署の牛肉輸入量は1,544トンであり、日本全国(47万3652トン)の0.3%を占めている。相手国はオーストラリアとニュージーランドの2カ国である。



内訳をみると、オーストラリア産が1,025トン、ニュージーランド産が519トンとなっている。肉の部位別にみると、「ばら」が最も多くなっている。

第4表 牛肉の部位、国別輸入量

「札幌税関支署」の数値である。

(単位 kg)

国 名	平成19年					
	牛 肉 の 部 位	総 数	ロ イ ン	か た、う で 及 び も も	ば ら	そ の 他
合 計		1,543,528	66,336	445,277	678,576	353,339
オーストラリア		1,024,739	39,086	141,983	678,576	165,094
ニュージーランド		518,789	27,250	303,294	-	188,245

<資料> 財務省「日本貿易統計」

4 主な「牛」関連製品の取扱店舗数

「食肉小売業」の事業所数は58店舗

平成19年の「商業統計調査」によると、札幌市における「食肉小売業（卵、鳥肉を除く）」（主として食肉及び肉製品を小売する事業所）の数は58事業所、「牛乳小売業」（主として牛乳を小売する事業所）の数は34事業所となっている。

平成18年の「事業所・企業統計調査」によると、札幌市における「焼肉店（東洋料理のもの）」の数は299事業所となっている。

また、大手チェーン店各社のホームページによると、札幌市における「牛丼屋」の数は33店（平成20年12月調べ）となっている。

第5表 主な「牛」関連製品の取扱店舗数

産業（小分類）・業種	事業所数 （店舗数）
食肉小売業 （卵、鳥肉を除く）	58
牛乳小売業	34
焼肉店（東洋料理のもの）	299
牛丼屋	33

<資料> 経済産業省「商業統計調査」、総務省「事業所・企業統計調査」、各社ホームページ

5 主な「牛」関連製品の消費量

「牛肉」よりも、「豚肉」、「鶏肉」が好まれる

平成19年の「家計調査」から、品目別に、購入数量を都道府県庁所在市（川崎市、北九州市を含む。）で比較すると、札幌市の牛肉購入数量は4,269グラムで、全国平均（6,869グラム）を大幅に下回り49市中41位にとどまっている。一方、「豚肉」、「鶏肉」は全国平均を上回り、「豚肉」が4位、「鶏肉」が12位と上位に位置するなど、札幌市では「牛肉」よりも「豚肉」、「鶏肉」が好まれる傾向にある。

乳製品をみると、加工品の「バター」が2位、「チーズ」が1位と、全国トップクラスにもかかわらず、「牛乳」自体は全国平均（90.90リットル）さえも下回り、29位にとどまっている。牛乳生産量日本一の北海道にあって、牛乳離れの傾向が顕著に見受けられる。



第6表 主な品目別購入数量の都道府県庁所在市別ランキング

川崎市、北九州市を含む。（ ）内の数字は、順位である。

区分	牛肉		豚肉		鶏肉		牛乳		バター		チーズ	
	()	グラム	()	グラム	()	グラム	()	リットル	()	グラム	()	グラム
札幌市	(41)	4,269	(4)	20,358	(12)	13,406	(29)	87.35	(2)	746	(1)	3,572
全国		6,869		17,723		12,379		90.90		500		2,385
1位の市		12,170		21,828		17,632		115.15		768		3,572
		津市		新潟市		大分市		長野市		横浜市		札幌市
最下位の市		3,193		12,193		8,814		68.78		155		1,194
		長野市		神戸市		甲府市		那覇市		那覇市		和歌山市

<資料> 総務省統計局「家計調査」